

備前市事務事業評価シート

(平成25年度事業)

事業の概要		根拠法令・規程等	消防組織法
事業開始年度	昭和46年度～		
総合計画	大項目 基本構想	04	土台となる政策「安全・安心」
	中項目 基本計画	05	安全で暮らせるまち
	小項目 施策	16	消防・防災体制の強化
事務事業名	09	非常備消防車両管理事業	
問	担当課(室)	危機管理課	
合	職・氏名	消防防災係長 岡村 巧	
先	電話	64-1809	
このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の目的		Plan
対象(誰・何に対して)	消防団	
目的(何のために)	消防団の消防車両を維持、管理することにより、災害時の円滑な団活動を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	消防車両が常に運行できる状況の確保	

事業の実績				Do
細事業名	事業の説明	優先度	達成状況	
消防車両管理事業	消防車両の維持管理費	◎		
活動損失	災害時、団員が使用した自家用車に損害が生じた場合の損失補償	○		
目的を達成するため実施した事業				

事業費等		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
事業費	直接事業費	千円	6,132	5,234	4,603
	必要人員費	人件費	0.06人	0.08人	0.08人
	事業費	千円	6,552	5,817	5,152
決算額	国庫支出金	千円			
	受益者負担				
	繰入金				
	市債				
その他()					
一般財源		6,552	5,817	5,152	
受益者負担比率	%	-	-	-	

結果指標		単位	平成23年度実績	平成24年度実績	平成25年度実績
結果指標名	説明	消防車両			
結果指標量			56	56	56
対前年比	%		-	100.0%	100.0%
活動コスト	円		6,552,000	5,817,000	5,817,000
単位当たりコスト			117,000	103,875	103,875

事業の成果		年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度目標値
成果指標名	目標値(A)					
	実績値(B)					到達目標値
	達成率(B/A)	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!		
成果指標設定の考え方・式や説明						
消防車両の管理は、常に運行可能な状態とするため、車検受け、修繕を行っており、成果指標は設定し難い。						

事務事業の評価		該当する項目を□から■へ < ■ ← 「コピー」して「貼り付け」してください >				Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い				妥当性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託合)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている				効率性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input checked="" type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNP0、ボランティア団体等が参画している				有効性評価 ABCDE 高や普や低 いや通やい 高 低 い
市民参画度						C

進行年度(H26年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
説明	平成26年度はポンプ車1台を購入予定。						

総合評価		総合評価
消防車両の維持管理を行う上で、必要最低限の経費である。管理している消防団の協力により、不具合を生じないように努めている。		C

平成27年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
		○					
取組目標	消防車両、可搬ポンプ購入については、21年度で車両9台を更新したが、購入から20年以上経過する車両があるので年次的に更新する必要がある。(15年を経過する車両23台)						

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しな